

大正地区センター委員会（第二回） 議事録

開催日 : 平成27年3月20日 15:30~16:30
場所 : 大正地区センター 第一会議室
出席 : 小松委員長、萩谷委員、白井委員、内藤委員、新出委員、早委員、
山田（八）委員、福浦委員
栗原総一郎 様（地域振興課）
大屋館長、齋藤副館長、大内副館長（大正地区センター）
欠席 : 市橋副委員長、露木副委員長、岡島委員、桜井委員、根岸委員、
山田（美）委員

資料 3月10日までの利用人数、部屋稼働率、利用料金収入報告・・・資料1
自主事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2
ニーズ対応費報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3
修繕報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料4
サービス向上策報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5
大正地区センターまつり報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料6
大正地区センター夏まつり報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料7
利用者アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料8

（小松委員長ご挨拶）

小学校の卒業式に出席した。立派な先生が指導しており、川崎で起こったようなことはここでは起こらないと確信を持っている。皆で手をつないで、地域を守っていく。地区センターも手を結んで運営してほしい。近隣の小学校では、挨拶運動をおこなっているが挨拶は良くなってきた。先生も意識を持って（指導されているので）良くなってきた。これからも子供を育てていきたい。

（栗原様 挨拶）

大正地区センターの利用者が増えてきたことはうれしいことだが、一方で予約がとりにくくなっている。現場で対応してもらっているが、今後ともサポートしていくのでよろしく願いしたい。

（齋藤副館長 挨拶）

平成27年1月に就任し自主事業を担当します。皆様との関わりも多くなると思いますのでよろしく願いします。

議事

(1) 平成26年度事業報告

■資料-1により、3月10日までの利用人数、部屋稼働率、利用料金収入を報告。

平成26年度の利用者数 : 96,377人(～2月実績+3月見込)と増加傾向。

部屋稼働率 : 54.4%(2月末)と増加傾向。

部屋別稼働率 : 従来傾向が継続
(体育室:高稼働率、料理室:低稼働率)

時間帯別稼働率 : 従来傾向が継続
(15:00以降が極端に稼働率が下がる)

利用料金推移(収入) : 平成26年度は部屋稼働率が高いことにより420万円の予算を達成できる見込。

■資料2により、自主事業実績(一部見込)を報告。

平成26年度は、延べ143回の講座を開催、参加者数2,044名(3/10現在)特徴ある事業として、①つまみ細工のかんざし作り、②ダンスパーティー、③陶芸教室等があった。

■資料3により、ニーズ対応費支出を報告。

140万円の予算(部屋利用料金の1/3)と同額の支出を見込。

できるだけ利用者に公平になるようなものを購入している。

大きなものとして、トイレの手洗いの自動水栓化、和室(舞台側)の畳表替えや長年行っていなかったピアノの調律等を実施。

■資料4により、修繕費支出を報告。

70万円の予算に対して、1,539,256円の見込み。館の老朽化に伴い、大規模で緊急性の高い修理が必要になっている。

体育室入口前タイル補修、料理室換気扇部品交換および天井張替修繕を実施。

体育室の照明工事は、作業の足場を組む費用が必要で高額な支出となった。

■資料5により、サービス向上及び経費節減努力事項を報告。

大・小ささまざまな事を実施し、サービス向上、経費節減をおこなってきた。

(2) その他

■資料6、7により夏まつり、大正地区センターまつりの実施状況を報告。

大正地区センターまつりは、約1,500名の来場者があった。展示、演芸部門共に好評だった。

■資料 8 により大正地区センターご利用に関するアンケート結果を報告。

「駐車場不足」という意見があるが、大正地区センターは他地区センターに比較して駐車可能台数は多い（30台程度...他は20台程度）

部屋ごとに色々なご意見、要望を頂いた。聞くだけではなく、できるところから対応していく。

応当日抽選方法について多くの意見があり、平成27年度に「応当日抽選方法の検討会」を立ち上げて、良い方法を皆さんと一緒に検討していきたい。

会合の予定等は、平成27年度になってから随時お知らせします。

■その他

2月3日に、タバコの吸い殻を事務所の窓枠に差し込まれているのを発見。悪質ないたずらとみなし、警察に通報。今後とも、見回りを強化する。

また、いたずら防止のために事務所のブラインドは閉館まで開けておく。

■ Q&A

（委員）

大正地区センターまつりの入場者数（約1500名）は、どのようにして把握したのか。

（大屋館長）

当日配布したプログラム、もじあてラリー（用紙）の準備数と配布数の差から推測した。

（委員）

地区センターまつりの展示はすばらしい。体育室のカラオケも良い。

（委員）

夜間の稼働率について、他の地区センターとの比較はあるか。

（大屋館長）

少なくとも、戸塚地区センターは大正地区センターよりは稼働率が高い。

交通の便が良く、会社帰りの方が利用しやすいのが一因となっている。

(委員)

時間帯、部屋によって集中するところは稼働率が高くなるが、それを分散させる方法が必要。

(大屋館長)

現在の応当日抽選方法では、抽選順位ごとに部屋を決めるので、第一希望が使えなくなることもある。方法として、第一希望者だけで抽選するという方法もある。

(委員)

体育室前のタイル剥がれの件、「またか」という印象だ。市、区で地区センター全体をチェックしてほしい。

(大屋館長)

平成26年度に、横浜市が地区センター敷地内の5か所のボーリング調査を行った。全ての陥没を修繕するには、2～4千万の費用が発生するという。予算的に全面地盤改良は難しいとのことで、実施には至っていない。

一方で、平成27年度は外壁の剥がれ修繕、屋上屋根・体育室屋根の補修を行う計画になっている。(時期は未定)

(委員)

駐車場の陥没の対応は市、区に考えてもらいたい。裏庭のフェンスも傷んできた。フェンスは垂直に立っていて(フェンスが壊れて)下に落ちたら大変だ。危険対応という観点で行政に考えてもらいたい。

以上